

## 弘前薬剤師会活動報告

事業担当理事 八木橋雄一

6月13日に一般社団法人弘前薬剤師会は通常総会を終えて、新年度様々な事業が平常に進行されております。

今回の活動報告は、弘前地域薬局の”班編成構築“についてご報告いたします。私が事業担当理事として総務委員会と共同で推進しております。

本事業の意義目的と経緯として大きいのは、地域薬剤師会の役割や重要性を今年の調剤報酬改定にて高く評価された事があります。(災害時や感染症発生時における薬局体制や対応など)

青森市薬・八戸市薬では昔から機能している“班編成”を『今更でなく、今だからこそ、顔の見える、話し合える』関係を弘前地域の薬剤師会で構築する。そして弘前薬剤師会の運営がよりスムーズになる事が期待されます。既存の連携事業として“夜間電話相談事業”

(県薬事業)がありますが、弘前地域薬局の約95%以上が参加協力している実績が高い連携事業なので、今回の“班編成”の参考にしました。

### 概要

〈地域市町村〉

弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・大鰐町・板柳町 全21班

〈班活動の内容〉

- ・配布物の拠点
- ・お薬手帳や小分け伝票の仲介
- ・各薬局からの意見要望の集約
- ・災害時活動
- ・感染症時活動
- ・薬剤師連盟活動など

6月5日第1回班長会議を開き、説明会に班長・副班長含め21班全ての薬局にご出席いただきました。参加薬局の皆様からは多くの不安な声や貴重な意見、様々な質問を受けました。そこに対してきちんと納得していただく回答が出来なかったことは事業部の準備不足と反省しております。

しかし「班長、副班長には各班の薬局へ説明、周知、取り纏めをお願いしたい。1年をかけて班編成の機能、内容を拡充していく。長く継続することで内容を充実していく。とにかく参加薬局と協同で走りながらの事業・・・」とお願ひばかりの説明にも拘らず、何とか“班編成事業”始まる事ができました。当日参加された班長、副班長の皆様に本当に感謝しております。

説明会にて100%のご納得を得られていないのは認識しております。実際はじまって直ぐに、『一人薬剤師の活動限界、班の薬局数に地域的差があり公平感がない、連盟活動には賛同しづらい…』などなど沢山のお声を聴いております。

全ての貴重な意見を成功運営の肥しとして捉え、この先長い弘前薬剤師会の事業として構築していく所存です。